

令和 4 年度 第 2 回安全・安心なまち部会

今後の取り組み検討にあたり、ご意見をうかがいたい内容

【地域での防災活動について】

- ・例年、各地域で防災力向上のために訓練等が実施されており、その内容は地域によって様々です。（災害時避難所までの避難訓練、安否確認訓練、避難所開設訓練、炊き出し訓練、応急救護訓練、消火訓練等）
- ・広く区民の方々が参加できるかどうかは、訓練や活動の内容によるところですが、区民の立場としてどんな企画内容の訓練や活動だったら参加したいと思いますでしょうか。
- ・また、委員それぞれのお住まいの地域や勤め先の地域のことを、より安全で安心できる地域だと感じるために、今後、地域としてどのような取り組みをすることがよいと思いますでしょうか。
- ・この 2 点についてご意見をお伺いします。

【特殊詐欺被害防止の取組について】

- ・令和 4 年 1 月～12 月の淀川区内の特殊詐欺被害（速報値）は、被害件数 56 件、被害金額は約 9 千 7 百万円と、件数・金額とも令和 3 年より微減したものの 24 区中最も被害の多い区である状況が続いています。
- ・淀川区では、警察、区社会福祉協議会との 3 者協定に基づく地域の方々との街頭啓発活動、区青色防犯パトロールカー（青パト）による巡回中のアナウンス、警察からの要請による同報無線（防災スピーカー）による放送等、特殊詐欺被害防止啓発に努めています。
- ・また、昨年 12 月から高齢者世帯に対する固定電話機に設置する録音機無償貸与事業が大阪市全域で開始され、淀川区では 1 月 5 日現在で 15 台貸与しています。
- ・より一層の特殊詐欺被害防止にむけて、各地域では区役所からの広報を活用した啓発を何かされているでしょうか。
- ・また、区青パトの他にも、区防犯協会、区社協の合計 3 台の青パトが区内を巡回していますが、犯罪抑止効果をより発揮するためには、どのように活用すればよいでしょうか。

【区内各相談支援窓口の認知度アップについて】

- ・淀川区においてもこの間の物価上昇の影響を受けられている世帯は多く、福祉課題のより一層の複雑化・多様化・深刻化が進んでいます。
- ・また、令和元年に実施された調査（※ 1）では困っていることや悩んでいること、または不安なことを相談できる人がいないと答えた方の割合が淀川区では 15.0%と市全体の 10.1%を大きく上回っています。
- ・淀川区内には高齢者や障がい者、生活困窮者などを支援されている相談支援機関がたくさんありますので、悩み事は人それぞれ千差万別ですが、まずは淀川区には様々な相談支援窓口があることを知っていただくことが必要であると考えています。
- ・現在、各相談支援窓口の認知度アップに向け、広報誌、ホームページ、チラシ等を活用した広報活動を実施しており、区民アンケート（※ 2）において「区内に各種相談窓口があることを知っている」と答えられる割合を令和 7 年度末までに 70%以上をめざしています。
- ・委員の皆さまから、区内各相談支援窓口の認知度アップにつながる広報活動（取り組み）についてご意見をいただきたいと考えています。よろしくお願いします。

※ 1 大阪市における地域福祉にかかる実態調査（令和元年）

※ 2 令和 4 年度区民アンケート結果 相談窓口を知っている方の割合：約 61%